

令和6年度 中学生チャレンジテスト（3年生）の概要及び結果

高槻市教育委員会 令和6年12月

実施の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育にいかします。
- 生徒が、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自分の学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高めます。
- 大阪府教育委員会が、テスト結果を使って、大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供します。

実施の概要

- 実施日：令和6年9月3日（火）
- 実施校数及び実施生徒数 中学校18校 3年生 2,536人
- 学力に関する調査 国語・社会・数学・理科（A、B、Cから選択）、英語
- 生徒に対するアンケート 11問

調査結果の取扱い

本結果は学力の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにつながらないよう十分配慮をお願いします。

結果については、本実施の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

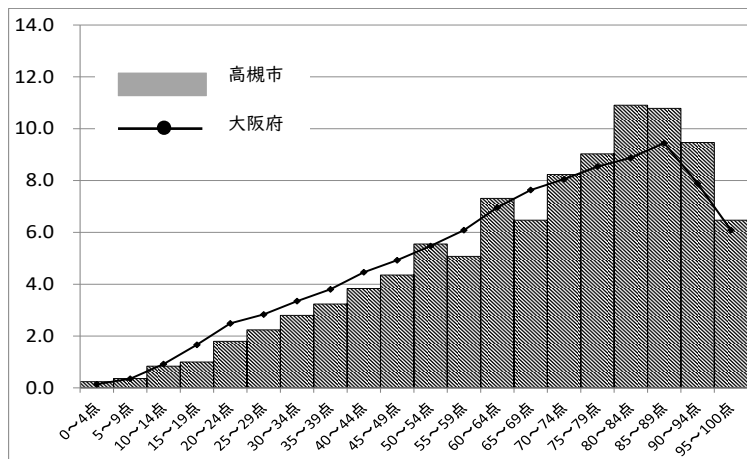
教科別・平均点比較（対大阪府）

教科	高槻市	大阪府	差（対府）
国語	67.9	65.2	+2.7
社会	51.9	50.4	+1.5
数学	51.9	49.1	+2.8
理科A	48.8	48.3	+0.5
理科C	57.3	52.3	+5.0
英語	58.0	53.6	+4.4

※理科Bについては、選択している学校数が少ないため非公表とします。

R6 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 国語

	平均点	無解答率
高槻市	67.9	4.2
大阪府	65.2	5.3



1. 分類・区分別集計結果

分類		区分	対象設問数	配点	平均点	
					高槻市	大阪府
全体			31	100	67.9	65.2
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	10	24	18.1	17.5
		情報の扱い方に関する事項	2	10	5.2	5.0
		我が国の言語文化に関する事項	7	24	14.0	13.5
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	5	17	10.7	10.1
		書くこと	5	20	14.9	14.3
		読むこと	8	30	18.4	17.7
評価の観点		知識・技能	19	58	37.4	35.9
		思考・判断・表現	18	67	44.0	42.1
		主体的に学習に取り組む態度	－	－	－	－
問題形式		選択式	18	60	41.6	40.1
		短答式	10	25	18.1	17.3
		記述式	3	15	8.2	7.8

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問〔三4〕

(1) 問題の概要

新聞の下書き中の空欄に入れる言葉として適しているものを選択します。

(2) 成果

文章の構成や役割を考えることができています。

3. 課題が見られた設問〔四5〕

(1) 問題の概要

リハーサルで話した内容中の空欄に入る内容を条件にしたがって書きます。

(2) 課題

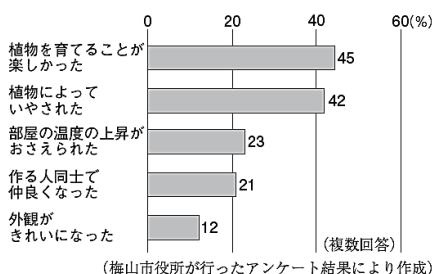
聞き手を意識し、自分の考えが明確に伝わるように話の構成を整理して考え、書くことに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

「書くこと」に関する授業においては、発達段階に応じて、「何のために」「何を」「どのように」書くのかを明確にすることが重要です。また、「読むこと」と「書くこと」を関連付け、指導することが大切です。

設問 四5 (抜粋)

「緑のカーテンづくり」に取り組んだ市民が感じた効果



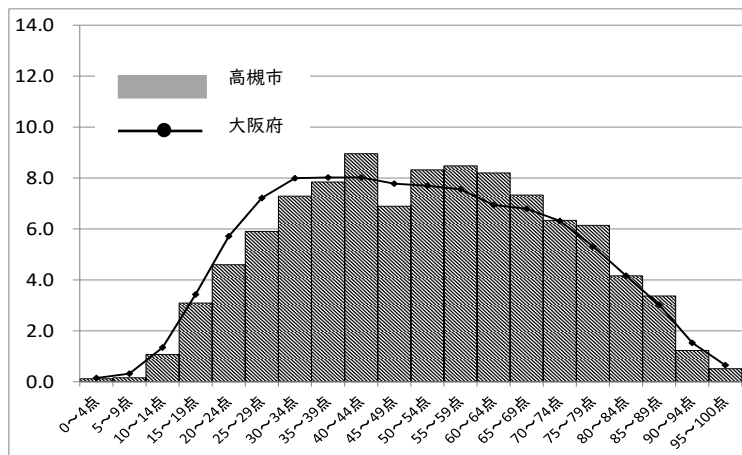
- 条件1** 心理的な効果という言葉を用いて書くこと。
- 条件2** 【資料】からわかることを、数値を用いて具体的に書くこと。
- 条件3** 前後の文脈に合わせて、三十字以上、五十字以内で書くこと。

【資料】

5 寺島さんは、【資料】3にもとづいて、【スピーチの原稿】中のAの部分を書きました。あなたが寺島さんなら、どのように書きますか。適切な内容をあとの条件にしたがって書きなさい。なお、次の【資料】は、【スピーチの原稿】中の【資料】3を拡大したものです。

R6 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 社会

	平均点	無解答率
高槻市	51.9	4.5
大阪府	50.4	5.0



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		37	100	51.9	50.4
学習指導要領の領域	地理的分野	20	55	30.1	29.5
	歴史的分野	17	45	21.8	21.0
評価の観点	知識・技能	28	71	38.7	37.7
	思考・判断・表現	9	29	13.2	12.7
	主体的に学習に取り組む態度	－	－	－	－
問題形式	選択式	31	81	43.6	42.5
	短答式	4	11	5.4	5.3
	記述式	2	8	2.9	2.6

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [3 (3) ③]

(1) 問題の概要

ツバルが直面する環境問題について、文章中に入ることばを選びます。

(2) 成果

環境問題の背景やその原因について理解しています。

3. 課題が見られた設問 [2 (3) ②]

(1) 問題の概要

鎌倉幕府が開かれた12世紀後半から鎌倉幕府が滅んだ14世紀前半までの期間に起こったできごとを起った順に並び変えたものを選びます。

(2) 課題

鎌倉幕府が開かれていた期間に起こったできごとの背景や流れを理解することに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

昨年度に引き続き、歴史の大きな流れを、「各時代の特色を踏まえて理解すること」に課題が見られます。各年代と出来事等の暗記だけでなく、社会の流れや背景まで理解することが大切です。

設問 2 (3) ② (抜粋)

② 次のX～Zは、【メモ3】中の下線部⑤の鎌倉幕府が開かれた12世紀後半から鎌倉幕府が滅んだ14世紀前半までの期間に起こったできごとについて述べた文です。X～Zをできごとが起こった順に並びかえると、どのような順序になりますか。あとのア～カから正しいものを1つ選びなさい。

X 文永の役と弘安の役が起こった。

Y 御成敗式目が制定された。

Z 承久の乱が起こった。

ア X → Y → Z

イ X → Z → Y

ウ Y → X → Z

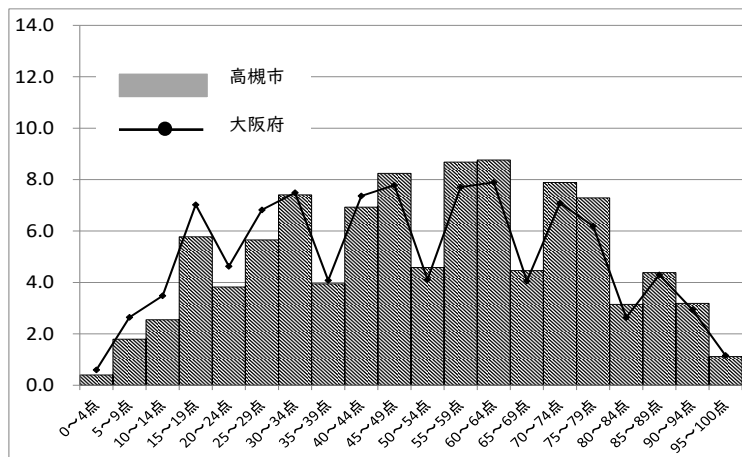
エ Y → Z → X

オ Z → X → Y

カ Z → Y → X

R6 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 数学

	平均点	無解答率
高槻市	51.9	13.1
大阪府	49.1	14.8



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		33	100	51.9	49.1
学習指導要領の 領域	数と式	9	28	18.9	17.8
	図形	9	27	13.4	12.6
	関数	9	27	12.2	11.6
	データの活用	6	18	7.4	7.1
評価の観点	知識・技能	21	64	36.9	35.2
	思考・判断・表現	12	36	14.9	13.9
	主体的に学習に取り組む態度	－	－	－	－
問題形式	選択式	14	42	23.6	22.9
	短答式	15	46	24.3	22.9
	記述式	4	12	3.9	3.3

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [1 (1)]

(1) 問題の概要

基本的な四則計算として「 $12 - 2 \times (-6)$ 」を計算します。

(2) 成果

正の数と負の数の計算ができています。

3. 課題が見られた設問 [3 (5)]

(1) 問題の概要

2つの三角形の面積の大小関係について正しい記述を選びます。

(2) 課題

平行四辺形の性質の理解に課題が見られます。

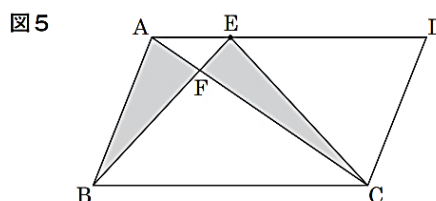
(3) 授業改善のポイント

面積の比較を具体的な場面で行うには、測定に頼らずに図形を論理的に考察することも重要です。授業場面において、既習事項を活用し、多様な解法で問題解決する力を養う場面設定が必要です。

設問 3 (5) (抜粋)

(5) 図5は、平行四辺形ABCDの辺AD上に頂点A、Dとは異なる点Eをとり、点Eと頂点B、Cをそれぞれ線分で結び、対角線ACと線分EBの交点をFとしたものです。

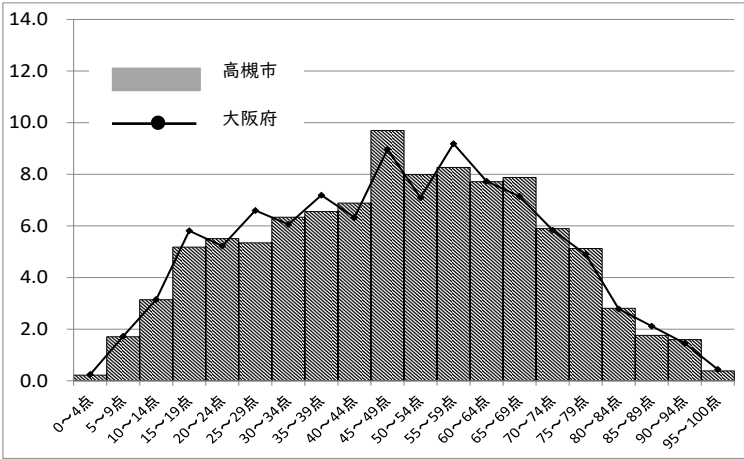
図5中の△ABFと△ECFの面積の大小関係について正しく述べたものを、あとのア～エから1つ選びなさい。



- ア △ABFの面積の方が大きい。
- イ △ECFの面積の方が大きい。
- ウ △ABFと△ECFの面積は等しい。
- エ この条件だけでは判断できない。

R6 3年生 チャレンジテスト 分析
中学校 理科 A

	平均点	無解答率
高槻市	48.8	6.0
大阪府	48.3	6.2



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		30	100	48.8	48.3
学習指導要領の 領域	「エネルギー」	12	40	15.5	15.1
	「粒子」	6	20	10.0	9.9
	「生命」	6	20	12.3	12.5
	「地球」	6	20	10.9	10.8
評価の観点	知識・技能	19	57	32.3	32.1
	思考・判断・表現	11	43	16.5	16.2
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	22	72	35.9	35.4
	短答式	7	24	10.6	10.6
	記述式	2	8	4.8	4.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [5A(2)]

(1) 問題の概要

沈んでいる物体の浮力の大きさと重力の大きさの関係を選びます。

(2) 成果

水中に沈んでいる状態における、浮力と重力の関係について理解できています。

3. 課題が見られた設問 [4(2)①]

(1) 問題の概要

溶解度曲線をもとに、水溶液にとけている物質を特定するための実験の条件と結果の見通しの組み合わせをすべて選びます。

(2) 課題

溶解度曲線をもとに、目的を達成するための実験の計画と結果の見通しを立てることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

既習学年(小学校第5学年)の内容を踏まえ、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解できるように場面設定するなど工夫が必要です。

設問 4(2)① (抜粋)

4 ゆうさんとりくさんは、今まで学習したことをもとに、次の【課題】に取り組むことになりました。(1)、(2)の問いに答えなさい。

【課題】

5種類の白い粉末A～Eがあります。A～Eは、表に示した物質を1種類ずつすりつぶしてつくったものです。それぞれどの物質であるかを特定しなさい。

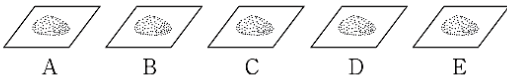


表 5種類の物質

塩化ナトリウム
砂糖
硫酸銅
硝酸カリウム
炭酸カルシウム
デンプン

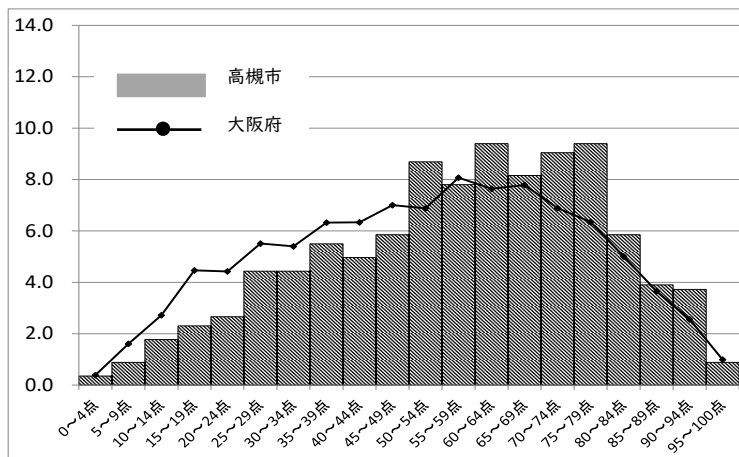
① 次の文章は、2人が考えた、D、Eを特定するための実験の条件と、結果の見通しについて書かれたものです。図5をもとに考えるとき、あとのア～オのうち、文章中の (a) ～ (c) に入ることばの組み合わせとして適しているものをすべて選びなさい。

10gの水を入れた試験管を2本用意し、D、Eを (a) ずつはかり取ってそれぞれ別々の試験管に入れ、試験管内の液体の温度を (b) に保ち、水へのとけ方を比べる。その結果は (c) となることから、DとEを特定することができると思われる。

	(a)	(b)	(c)
ア	3.0g	10℃	すべてとける方が塩化ナトリウム、とけ残りが出る方が硝酸カリウム
イ	3.0g	25℃	すべてとける方が硝酸カリウム、とけ残りが出る方が塩化ナトリウム
ウ	5.0g	20℃	すべてとける方が塩化ナトリウム、とけ残りが出る方が硝酸カリウム
エ	5.0g	35℃	すべてとける方が塩化ナトリウム、とけ残りが出る方が硝酸カリウム
オ	5.0g	40℃	すべてとける方が硝酸カリウム、とけ残りが出る方が塩化ナトリウム

R6 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 理科 C

	平均点	無解答率
高槻市	57.3	3.5
大阪府	52.3	4.4



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		30	100	57.3	52.3
学習指導要領の 領域	「エネルギー」	6	20	8.1	7.5
	「粒子」	8	27	16.1	14.7
	「生命」	10	33	21.9	19.3
	「地球」	6	20	11.1	10.8
評価の観点	知識・技能	19	58	36.9	34.1
	思考・判断・表現	11	42	20.5	18.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	23	76	41.3	37.5
	短答式	7	24	15.2	13.8
	記述式	2	8	5.3	4.7

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [5C(2)①]

(1) 問題の概要

分裂している途中の細胞に見られるひものような形をした、酢酸オルセイン液によく染まるものの名前を選びます。

(2) 成果

染色体について理解できています。

3. 課題が見られた設問 [4(2)①]

(1) 問題の概要

溶解度曲線をもとに、水溶液にとけている物質を特定するための実験の条件と結果の見通しの組み合わせをすべて選びます。

(2) 課題

溶解度曲線をもとに、目的を達成するための実験の計画と結果の見通しを立てることに課題が見られます。

(3) 授業改善のポイント

既習学年(小学校第5学年)の内容を踏まえ、水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解できるように場面設定するなど工夫が必要です。

設問4(2)① (抜粋)

- 4 ゆうさんとりくさんは、今まで学習したことをもとに、次の【課題】に取り組むことになりました。(1)、(2)の問いに答えなさい。

【課題】

5種類の白い粉末A～Eがあります。A～Eは、表に示した物質を1種類ずつすりつぶしてつくったものです。それぞれどの物質であるかを特定しなさい。

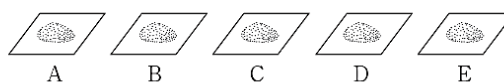


表 5種類の物質

塩化ナトリウム
砂糖
硝酸カリウム
炭酸カルシウム
デンプン

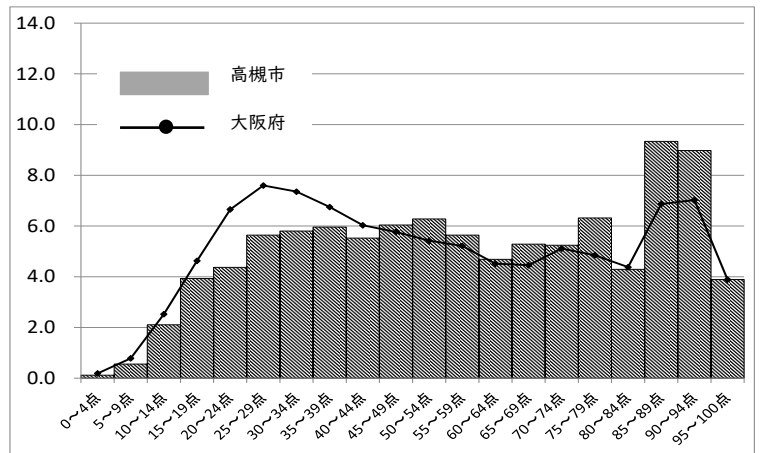
- ① 次の文章は、2人が考えた、D、Eを特定するための実験の条件と、結果の見通しについて書かれたものです。図5をもとに考えるとき、あとのア～オのうち、文章中の [a] ～ [c] に入ることばの組み合わせとして適しているものすべてを選びなさい。

10gの水を入れた試験管を2本用意し、D、Eを [a] ずつはかり取ってそれぞれ別々の試験管に入れ、試験管内の液体の温度を [b] に保ち、水へのとけ方を比べる。その結果は [c] となることから、DとEを特定することができると思われる。

	[a]	[b]	[c]
ア	3.0g	10℃	すべてとける方が塩化ナトリウム、とけ残りが出る方が硝酸カリウム
イ	3.0g	25℃	すべてとける方が硝酸カリウム、とけ残りが出る方が塩化ナトリウム
ウ	5.0g	20℃	すべてとける方が塩化ナトリウム、とけ残りが出る方が硝酸カリウム
エ	5.0g	35℃	すべてとける方が塩化ナトリウム、とけ残りが出る方が硝酸カリウム
オ	5.0g	40℃	すべてとける方が硝酸カリウム、とけ残りが出る方が塩化ナトリウム

R6 3年生 チャレンジテスト 分析 中学校 英語

	平均点	無解答率
高槻市	58.0	5.8
大阪府	53.6	6.9



1. 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数	配点	平均点	
				高槻市	大阪府
全体		35	100	58.0	53.6
学習指導要領の領域	聞くこと	10	26	19.8	18.5
	読むこと	12	35	20.7	19.1
	話すこと（やり取り）	-	-	-	-
	話すこと（発表）	-	-	-	-
	書くこと	13	39	17.5	16.1
評価の観点	知識・技能	18	49	24.5	22.5
	思考・判断・表現	17	51	33.5	31.2
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-	-
問題形式	選択式	26	73	49.0	45.7
	短答式	-	-	-	-
	記述式	9	27	9.0	7.9

※1つの設問が複数の区分に該当することがあるため、それぞれの分類について各区分の設問数や平均点等を合計した値が、実際の設問数や平均点等と一致しない場合がある。

2. 成果が見られた設問 [2 (1)]

(1) 問題の概要

会話を聞いて、「マキのお兄さんはどれくらいの間先生をしていますか」という質問に対する適切な答えを選びます。

(2) 成果

日常的な話題についてのまとまった会話文を聞き、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができています。

3. 課題が見られた設問 [8 (4)]

(1) 問題の概要

スピーチ原稿とグラフを読み、スピーチ原稿やグラフの内容と合う英文を選びます。

(2) 課題

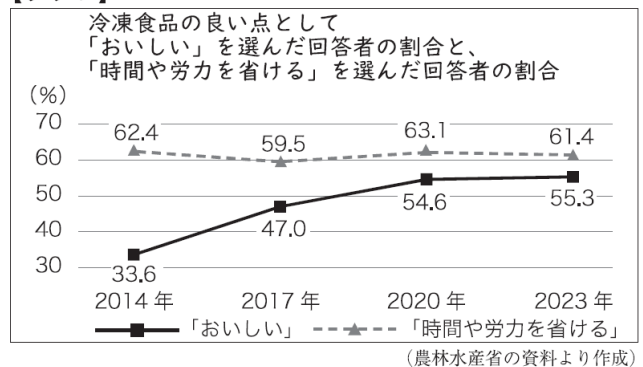
日常的な話題について、英文とグラフとの関係を正確に読み取り、説明文の概要を捉えることに課題があります。

(3) 授業改善のポイント

個々の詳細な情報にとらわれることなく全体を捉えるために、接続詞などに注目して情報と情報の関係を把握しながら読み進めることが大切です。また、まとまりのある文章の概要を捉える活動では、説明文などを読んで捉えた内容を相手に分かりやすく話したり書いたりする言語活動を行うなど、相手意識や目的意識を持った活動を意識的に取り入れることが必要です。

設問8 (4) (抜粋)

【グラフ】



(4) 次のア～エのうち、【スピーチ原稿】や【グラフ】の内容と合うものを1つ選びなさい。

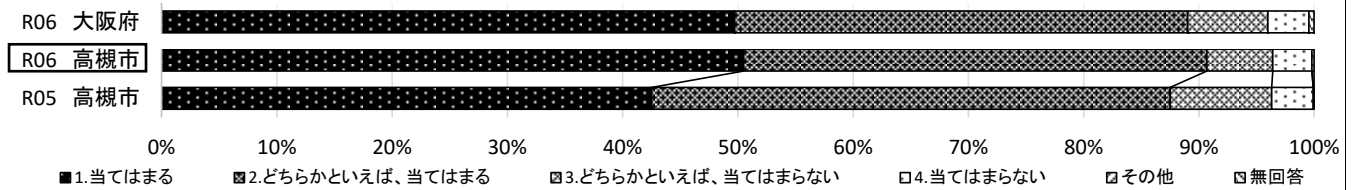
- ア Satomi has never used frozen shrimp pilaf because she can't cook it easily.
- イ In the graph, in 2017, 33.6% of the respondents chose a choice, "Frozen foods are delicious."
- ウ In the graph, in 2023, the percentage of "Frozen foods are delicious." was higher than the percentage of "Frozen foods can save time and effort."
- エ Satomi hopes that frozen foods will be more convenient and more delicious.

令和6年度中学生チャレンジテスト（3年生）

生徒に対するアンケートの結果

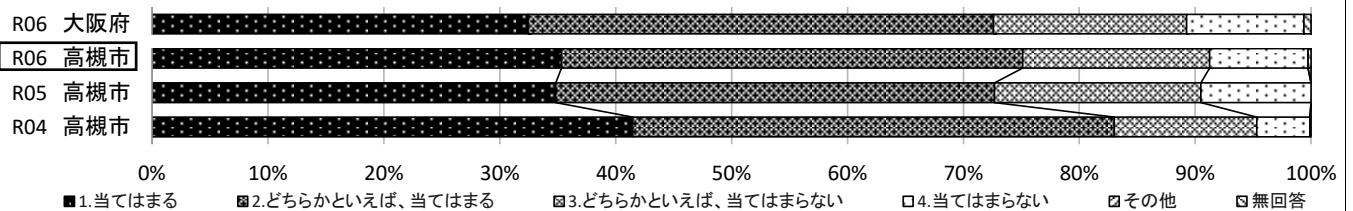
※グラフは、同一学年の変容を表しています。R04（1年次）、R05（2年次）、R06（3年次）

1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。

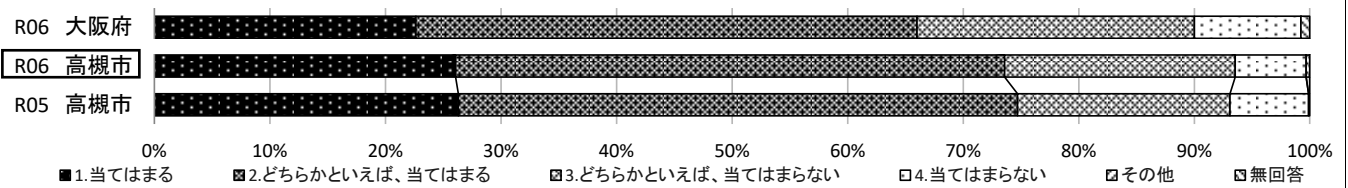


2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。

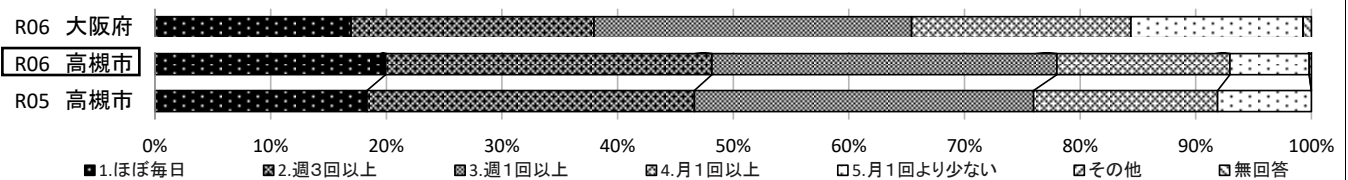
※【参考】(R04) 授業で、図書館の資料やインターネットなどで調べる活動がある。



3. 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。

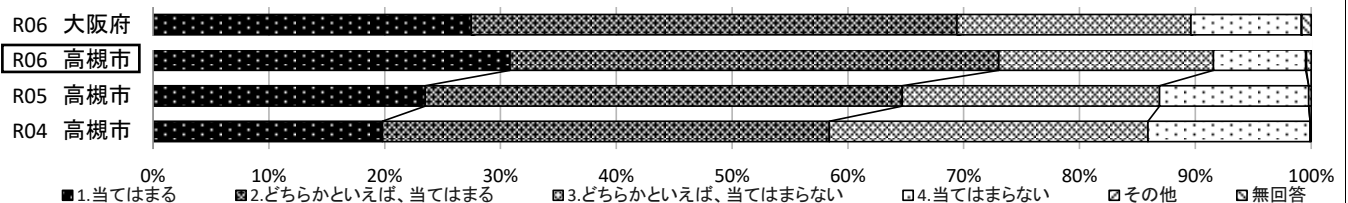


4. 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。



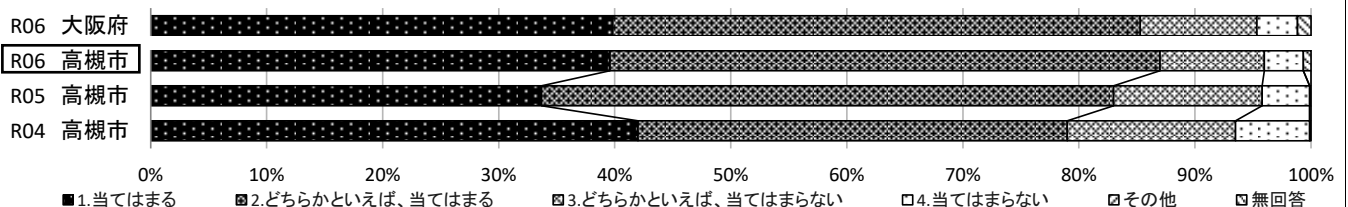
5. 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。

※【参考】(R04) 自ら課題を見つけて、家で勉強をしている。



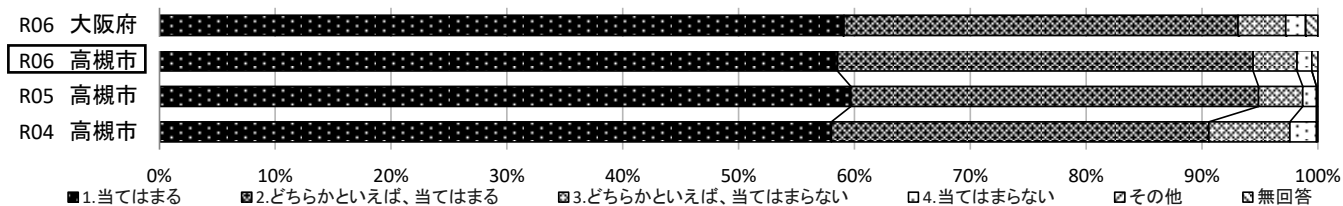
6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。

※【参考】(R04) 授業中、間違っても笑われない。

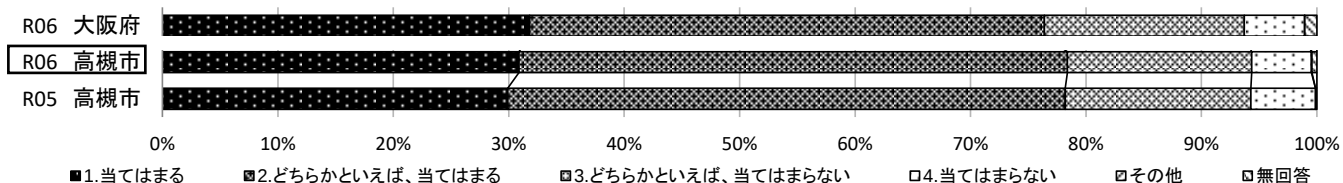


7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。

※【参考】(R04) 授業中、自分の考えや意見を伝える場面がある。

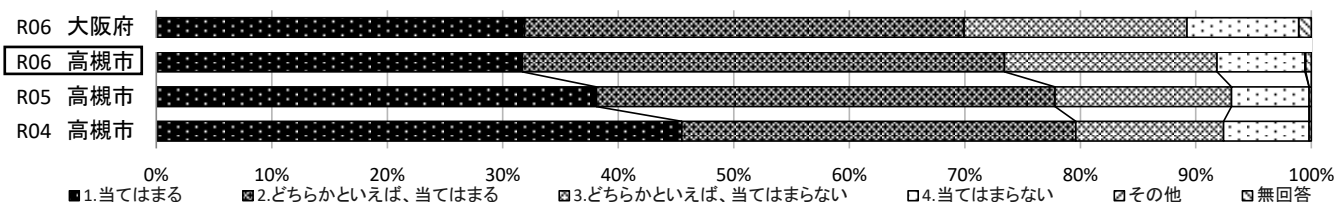


8. 難しいことがあっても、あきらめない。

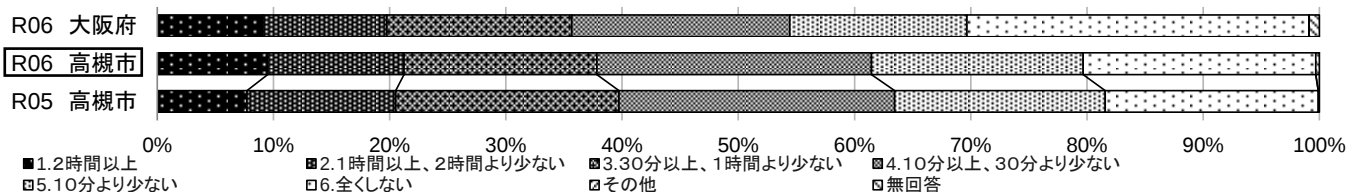


9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。

※【参考】(R04) テレビや新聞、インターネットなどのニュースを見る。

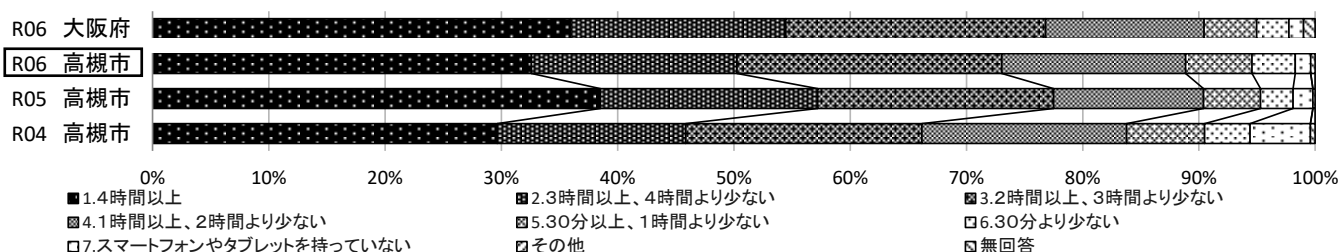


10. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、本（教科書は除く）を読みますか。



11. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。

※【参考】(R04) 普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンを使いますか。



【生徒に対するアンケートの結果について】

設問1、5については、学年とともに強肯定（1. 当てはまる）の回答に増加傾向が見られ、学習する内容に対して、苦手なところや必要なところを考慮して勉強するようになっていいると考えられます。一方で、設問2、9については減少傾向となっております。授業や様々な取組を通して、日常生活や社会的な出来事に対して疑問を持ち、自ら調べたり探究したりしていくような機会を取り入れていくことが重要です。引き続き、学習指導要領が示す資質・能力をバランスよく育むため、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善を進めてまいります。